

# 東京

千代田 中央 新宿  
港 文京 品川 北  
目黒 大田 世田谷  
渋谷 中野 杉並  
豊島 板橋 練馬

速報や写真・話題の提  
供、催しなどの連絡先

朝日新聞 東京総局

〒100-0011

千代田区内幸町2-1

日本プレスセンタービル3階

☎ 03-3508-0390

fax 03-5157-0615

mail tokyo@asahi.com

購読・配達のご用は

☎ 0120-33-0843

(7:00~21:00)

広告のご用は

☎ 03-3547-5552

折り込みのご用は

☎ 03-3544-7621

## 人気移住先 山梨・長野揺るがず

### NPO、希望者調査しランキング

首都圏から田舎への移住を支援する認定NPO法人「ふるさと回帰支援センター」(千代田区)は21日、2016年の移住希望地ランキングを発表した。トップ3を東日本地域が占めた一方、九州の人氣が上昇している。

同センターは昨年、設立15年目に入った。10月に北海道が窓口を開き、3大都市を抱える東京、愛知、大阪の3都府県を除く44道府県の情報を提供する、北海道から沖縄までワンストップで対応できる相談窓口となった。相談件数2万6426件、セミナー開催数418回は、いずれも過去最高となった。

移住希望先の都道府県ランキングは、昨年1年間に相談者が記載した移住相談カード6777件をふるさと回帰支援センターが集計。複数回答。

1位は山梨、2位は長野。両県でトップ2を占め

1位	山梨県
2位	長野県
3位	静岡県
4位	広島県
5位	福岡県
6位	岡山県
7位	大分県
8位	新潟県
9位	長崎県
10位	宮崎県

■移住希望地ランキング (2016年)

## 中高年の支持高く・九州も躍進

るのは4年連続となり、不動の人氣を誇る。特に山梨は昨年、県内22市町村が参加する移住相談会を開催するなど、県を挙げた受け入れ態勢が奏功したという。前年4位の静岡が3位に入り、5年ぶりに東日本地域が上位を独占した。昨夏に窓口を設けたばかりの福岡が5位にランキング。トップ10に九州勢は4

県。大分、宮崎の2県だった前年から躍進した。7位の熊本も入り、「熊本地震は移住先検討のマイナ要素となっていないことがうかがえる」という。同センターの副事務局長(44)は「首都圏から近い上位3県は中高年の支持が高い。一方、西日本は20〜30代に人氣。若者は距離にこだわらず、自分らしい暮らしを求めている」と分析する。

地域のルール、家計簿など移住後の生活を具体的に説明する冊子やパンフレット



### 地域ルール 予習を

ふるさと回帰支援センターは近年、相談者が移住先で失敗しないためにより具体的な生活がわかる「地域ルールの取り扱い説明書」をつくるよう、窓口を設ける自治体に求めている。

先駆的なのが、和歌山県紀美野町のパンフレットだ。都会と比べ濃い人間関係に入る「地域デビュー」のため、「一にあいさつ、二にあいさつ」などと具体的だ。地区の行事や役職から農地の借り方まで懇切丁寧に解説する。

「京都府南丹市日吉町世木地域」による「集落の教科書」は、地域のルールを48ページにわたって記述。「強いルール」「消えつつあるルール」など、わ

かりやすさも工夫する。収入や物価の違いを考慮した「家計簿」を紹介する自治体もある。同センター相談部門の宗像真弓さん(43)は「都会と地方の常識は異なることも多い。事前を知ることで、安心して移住できる情報が大事」と話す。(井上恵一朗)